



「持続可能な自然教室の実施手法」 の検討



本市では、恵まれた自然環境の中で、様々な体験活動や集団行動を通じて学習するため、長野県にある本市保有の川崎市八ヶ岳少年自然の家において、小学校5年生と中学校1年生に対し、2泊3日で自然教室を実施しています。

当該施設等の老朽化が進行していることから、令和2年度より抜本的な老朽化対策の検討に着手し、調査を進める中、令和4年度に敷地が土砂災害警戒区域等に指定されていることを確認しました。

現在は、当該地での再編整備の妥当性や移転整備について検討する一方で、他施設（国立・公立の自然の家、民間施設等）を活用した実施の可能性について、検討しています。

自然教室の概要

自然教室：2泊3日の集団宿泊的行事として実施

■小学校

- ・対象：小学校5年生
特別支援学校5年生
- ・学校数：118校
- ・実施時期：5月下旬～11月上旬
- ・1校当たりの実施人数：60～220人

■中学校

- ・対象：中学校1年生
- ・学校数：52校
- ・実施時期：春季4月上旬～5月下旬
冬季1月上旬～3月中旬
- ・1校あたりの実施人数：110～450人

■体験活動内容

登山、野外炊飯、星空観測、農業体験、スキーなど

(令和4年度実績)

月	実施学校数 (校)	実施人数 (人)
4月	小学校 中学校 0 4	0 646
5月	小学校 中学校 6 1	756 527
6月	小学校 中学校 28 0	3,857 0
7月	小学校 中学校 15 0	1,743 0
8月	小学校 中学校 9 0	1,000 0
9月	小学校 中学校 31 0	3,601 0
10月	小学校 中学校 24 0	2,433 0
11月	小学校 中学校 3 0	193 0
12月	小学校 中学校 0 0	0 0
1月	小学校 中学校 0 20	0 3,991
2月	小学校 中学校 0 25	0 4,806
3月	小学校 中学校 0 2	0 409
合計	小学校 中学校 116 52	13,583 10,379

「自然教室実施に当たっての視点」に基づいて、実施にあたり、次の条件とします。

- ① 自然体験活動が実施できる。
- ② 川崎市内（学校または最寄り駅）から3時間以内の地域で、2泊3日で実施
- ③ 宿泊施設が災害危険区域等外であること。

「自然教室実施に当たっての視点」

視点1 自然体験活動の実施（野外炊飯、キャンプファイヤー、登山、スキー、星座観察等）
自然の中で友人と協力しながら、達成感を味わえる様々な「直接体験」ができる活動を実施

視点2 集団宿泊活動の実施
集団の中でルールを守り、役割分担をしながら「協調性」「規律性」「責任感」を育み、より良い人間関係づくりができる集団宿泊活動を実施

視点3 活動時間の確保（2泊3日、移動時間3時間以内）
十分な体験活動が実施できるよう活動時間を確保するための宿泊日数と移動時間を確保

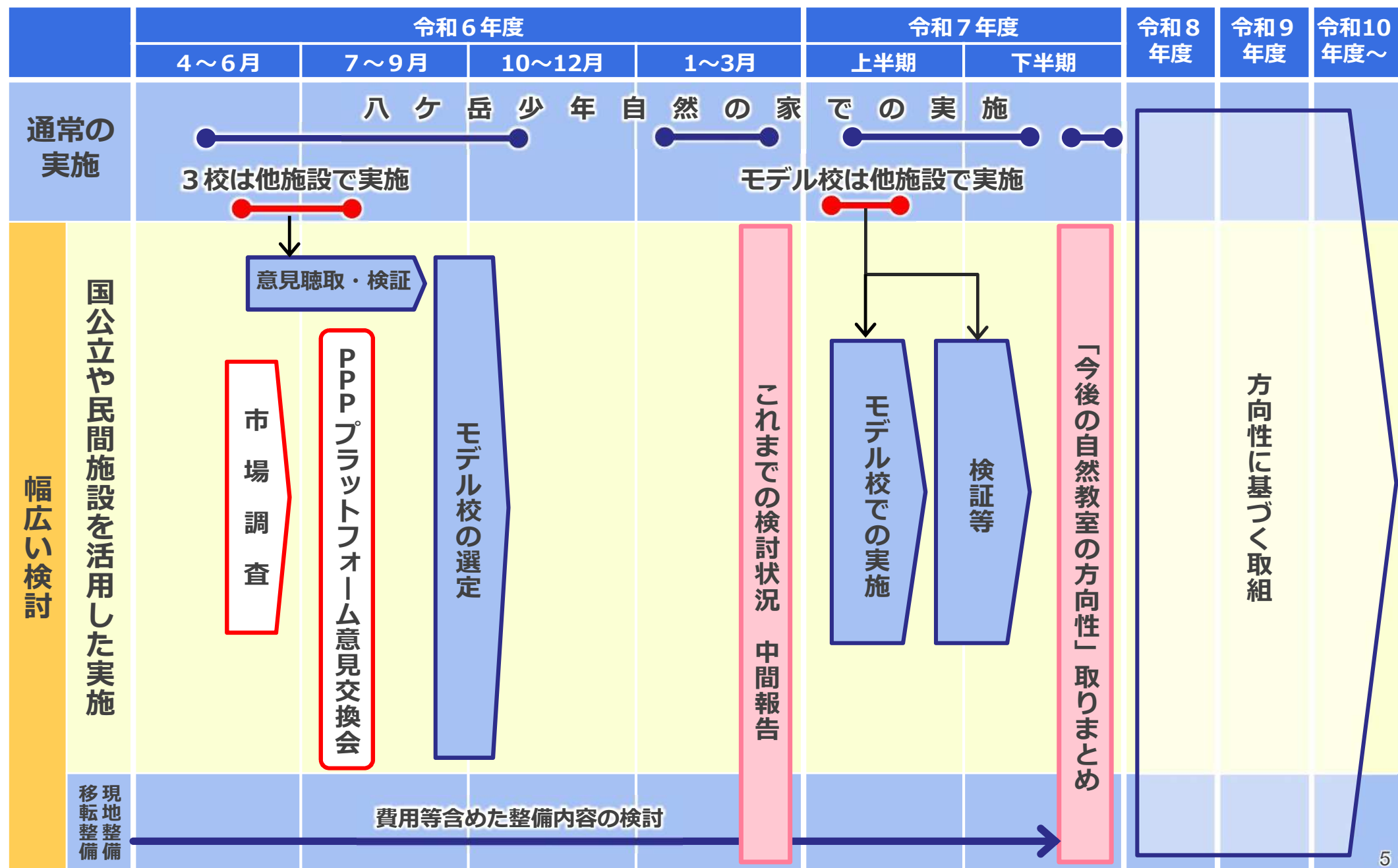
視点4 宿泊施設の安全性の確保（各種ハザードマップの確認等）
児童生徒の安全を最優先にした宿泊施設の選定

視点5 保護者の費用負担（現状と比較して過度な負担とならないよう配慮）
保護者の負担が大幅に増加することがないように配慮

視点6 教職員の業務負担（教職員の働き方・仕事の進め方改革に配慮）
教職員の過度な業務負担とならないよう配慮

今後の検討スケジュール（予定）

※スケジュールは変更する場合があります。



- ①市内小中学校約170校の実施場所の選定と確保に関わる委託化の可能性
- ②実施までの学校と施設等とのコーディネート業務（行程作成、体験活動・看護師の手配、当日の添乗等）の委託化の可能性
- ③現在、学校業務となっている実施に関わる業務（食費・活動費等の徴収と支払い等）の委託化の可能性
- ④実施場所確定までのスケジュール
（場所の選定→視察→仮予約→契約までに要する期間）